

「第2回神奈川県支部吟行会」成績

日時 令和六年十月三十一日(木)

場所 茅ヶ崎市民文化会館

吟行地 茅ヶ崎周辺

支部長賞

烏帽子岩に砲弾のあと鳥渡る 篠原 広子

足跡の先に子らゐて秋の浜 中根 美保

秋澄みて雄三の海大きかり 近藤 久江

笹本千賀子選

特選 烏帽子岩に砲弾のあと鳥渡る 篠原 広子

色鳥や文字太々とらいてう碑 佐藤 公子

船床を洗ひ白魚漁終はる 大和あい子

入選 園丁とベンチ共にす秋日和 勝又 晃衣

どの露地も海へ行き着き小鳥来る 鈴木 浩子

らいてう碑枝八方へ実紫 伊藤真理子

鰯雲老は背中で舵を取る 神谷 章夫

雄三の大き手形へ小鳥来る 山下 雅子

秋光やタオル干しある消防署 櫻井 弘子

今日晴れて帆を掛くるかに行く花野 井田美知代

原 朝子選

特選 ハロウィンや魔女に着せたき烏帽子岩 山崎 崇世

蔓荊の実や波ふくれ波くだけ 山下 桐子

秋澄みて雄三の海大きかり 近藤 久江

入選 烏帽子岩見たくて来れば秋の晴 山田 蹴人

図書館に仰ぐ郁子の実まだあをし 秋山ユキ子

数珠玉のかちり光を吸い込みぬ 中村かりん

海鳥の杭を競り合ふ秋の昼 堤 宗春

鳥渡る海をラチエン通りより 長谷川耿人

行く秋をざらりと相模灘の濤 長谷川耿人

森岡正作選

サナトリウム跡の真白き茸かな

石崎 宏子

特選

磯菊や箒掛けある浜の柵

藤川三枝子

足跡の先に子らゐて秋の浜

中根 美保

サナトリウム跡の真白き茸かな

石崎 宏子

入選

烏帽子岩に砲弾のあと烏渡る

篠原 広子

海鳥の杭を競り合ふ秋の昼

堤 宗春

枯れ松葉元始女性は太陽ぞ

加藤 房子

とんぼの碑の目玉大きく木の実降る

椎野 資子

忠相公の墓所を訪ねて秋惜しむ

柳澤 宗正

鯿飛んではつかに海の老いにけり

矢野みはる

木の実踏む時空に罅の入る音

滝代 文平

山西雅子選

特選

らいてう碑へ少女一礼新松子

安藤 明代

幾層の秋雲流れ違へけり

大和あい子

秋光を集めて松の針銀に

櫻井 弘子

入選

水澄むや漣一つひとつ立ち

内田 吉彦

秋晴や海の背鰭のえぼし岩

菅原 健一

数珠玉やかさりとかゆき耳の奥

飛田小馬々

秋行くやまだ濡れてゐる虚貝

涼野 海音

団栗をたんと拾うて風に消ゆ

安田のぶ子

サナトリウム跡の真白き茸かな

石崎 宏子

海拔を標す坂道樗の実

高橋 喜和